

# 「家がいいね」 第65号

いせ在宅医療クリニック 広報月刊紙

2009. 10. 10

足るを知る

写真は京都の龍安寺の茶室前に在る蹲踞(つくばい)の石です。中央の水穴を、「口」の字に見立て周りの四文字を共用し「吾唯足知」(ワレ タダ タル コト)



ヲ シル」と読みます。

釈迦の説く「知足のものは貧しいといえども富めり。知足のものは富めりといえども貧しい」という、知足(ちそく)の心に通じるとの事です。

人の上に立つ人ほど、身をかがめ「つくばって」手と口を漱ぐ意味を大切にすべきでしょう。自らの主義主張にこだわって辞職し再選挙という手法を用いる市長がいるなんて情けないなあと思っていましたら、何とこの伊勢市でも同じ事をするとは、それこそ開いた「口」がふさがりません。

養生ということ

建築で「養生」なる言葉が自然に使われていることに気付きました。コンクリートが固まるまで、塗った塗料が乾くまで、決して短縮できない大切な時間を置くことの意味です。天気も相手です。

うつの人に仕事を休んでもらうため診断書を書き「今は焦らずに養生してね」と言います。同様に、時間をかける事での変化や熟成の大切さです。

もうひとつ「養生」が使われる状況です。塗装がこぼれて汚れないように前もって貼ったシートがそれでした。家財に傷がつかないように入れる緩衝材もそう呼ばれていました。

これはケアと一緒に気遣いではないかと思いません。前もって不具合が生じるのを防ぎ、もしぶつかるものがあったても被害を最小限に抑えるのです。本当の職人なら、こんな経験もあって人間関係にも自然の気遣いが出るのではないかと思います。

家族に癒され、家族に悩む

何度も同じ事を言っていますが、外来診療でも在宅訪問でも、悩み相談の大半は家族の問題です。

「愛」の反対語は「憎しみ」ではなくて、「無関心」ですと紹介した事がありますが、関心が在るゆえの苦しみも楽しみも、家族の人間関係から離れてはありえません。子供が出来る所から家族が始まり、たとえ天涯孤独と言っても、自らににつながる家族を持つから人間の悩みにもつながるでしょう。動物には群れはあっても、家族を持つでしょうか。家族は人間だけが持つ文化のように思います。願わくば、近づき過ぎて互いの針で苦しむヤマアラシの悩みに似ないで、適切な距離を覚えた家族でありたいものです。



季節性インフルエンザワクチン

今年例年より2週間早く、10月初めから接種を実施中です。しかし、早ければ早いほど良いものではありません！ 体に入った後の防衛手段ですので、注射してから2週間で抗体が出来て、十分な効果を期待できるのは、ほぼ3ヶ月間です。季節性ですから、流行はおそらく、年末年始から本格的になります。ワクチン接種の適切な時期は、11月～12月と思って下さい。

今年新型ワクチンも製造したため、季節性ワクチンは昨年の8割程度しか数がそろいません。重症の方を優先に考える体制にもご協力ください。普段から健康な方は、ワクチン接種を絶対必要と考えず、予防と静養を第一に考えて対処下さい。

11月の臨時休診です

11月7日(土) 臨時 休診

名古屋で「死の臨床研究会」に参加します。

11月21日(土) 臨時 休診

東京で在宅ケアの講師をします。ご了承下さい。



Ise home care clinic

いせ在宅医療クリニック

自宅での人生を  
最期まで支援します

〒516-0805  
三重県伊勢市御園町高向 927  
電話 0596-20-8104  
ファクス 0596-20-8105  
mail [homecare@kr.tcp-ip.or.jp](mailto:homecare@kr.tcp-ip.or.jp)  
<http://www.tcp-ip.or.jp/~takuro>